



NHO Shibukawa Medical Center

ウイズ

— No.105 —

令和4年4月（2022年）

編集発行

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

電話 0279-23-1010
FAX 0279-23-1011

E-mail: 207-ShibukawaMC_mbx@mail.hosp.go.jp

https://shibukawa.hosp.go.jp

渋川医療センター

広報誌



令和4年度新採用者・異動者および幹部職員

基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携しその役割を果たします。

基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します。
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います。
3. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児（者）の専門病院として社会に貢献します。
4. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します。
5. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します。
6. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します。
7. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます。

目次

令和4年4月1日付辞令交付式について	1
群馬県よりワクチン接種協力への感謝状をいただきました	2
令和3年度災害対応訓練について	3
薬業連携研修会を開催して	4
COVID-19 感染症に対する「2021年度人工呼吸器実地研修」に参加して	5
専門・認定看護師オンラインセミナーをはじめました	6

職場紹介

療育指導室	7
5階西病棟	8

シリーズ

●患者さんにとって耳よりな情報 「その症状、不整脈かも!？」	9
「散歩の勧め・継続の秘訣」	10
●外来診療担当医表	11
●セカンドオピニオン担当医表	13
●患者さんの権利	13
●看護の理念、看護の基本方針	13
●編集後記	13

令和4年4月1日付辞令交付式について

給与係長 **平塚 拓也**

令和4年4月1日付、辞令交付式を執り行いました。参加者は院内での昇任、異動者も含め、81名の方が対象になりました。中には新しく社会人になる方もいらっしゃいますので、新しく働くことのワクワクより、緊張のドキドキの方が大きい方もいらっしゃったのではないのでしょうか。

私自身も院内での異動ではありますが、新しい部署にこの4月より配置換えになりました。そういった意味では、私も皆様と同じ立場になります。もしかしたら参加者の誰よりも緊張していたのは私だったかもしれません。



院長のあいさつ



蒔田院長から高橋特命副院長への辞令交付

新しい場所で働くことは、分からないことがたくさんで、もう嫌だなあと挫けてしまいそうになることがあると思います。私も正直、嫌だなあと感じてしまうことがあります。それでも挫けず、少しずつでも、毎日进行して行くことで、来年の今頃はきっと、今日よりできることがたくさんになっていると思います。同じ病院の中でも、働く場所はそれぞれですが、一緒に成長できるよう頑張りましょう。



辞令交付式の様子

群馬県よりワクチン接種協力への感謝状をいただきました

前 庶務係長 吉田 勝
(現 まつもと医療センター 専門職)

渋川医療センターは、群馬県が実施する新型コロナウイルスワクチン接種に協力させていただいております。

群馬県は、県民の皆様にも早期にワクチン接種をしていただくため、令和3年6月に高崎市にあるGメッセ群馬に大規模接種会場である県央ワクチン接種センターを設置しました。県央ワクチン接種センターは、たくさんの医療従事者や事務担当者等の協力のもと1日あたり最大1万人規模のコロナワクチン接種に対応する全国的に見ても大規模な接種会場となりました。渋川医療センターも群馬県からの要請に基づき、医師、薬剤師、臨床検査技師と多数の医療従事者を派遣させていただきました。このような渋川医療センターの貢献に対し、群馬県から感謝状を贈呈していただきました。

コロナ禍でいつも以上に診療業務が大変な中、できる限り通常診療には影響を及ぼさないように人員をやりくりして派遣協力させていただきましたので、率先して協力を申し出ていただいた職員は相当大変だったと思いますが、感謝状をいただき苦勞が報われたかと思えます。

今後も引き続き3回目追加接種推進のため、県央ワクチン接種センターの運営に、病院としてできる限りの協力をさせていただきます。

なお、渋川医療センター自体でも新型コロナウイルスワクチン接種を実施しておりますので、予約方法を当院のホームページでご確認の上で、ご予約ください。

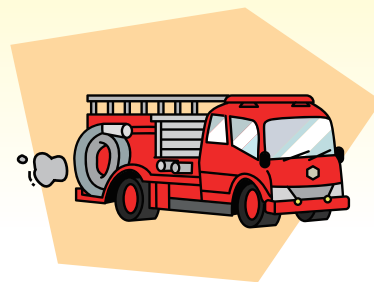
最後とはなりましたが、地域の皆様方に置かれましても手指消毒、マスク着用、3密回避などの感染対策の徹底をお願いいたします。なかなか先が見通せない状況ではございますが、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束に向けてご協力をお願いいたします。



左は当院の蒔田院長、右は武藤群馬県健康福祉部長です。



令和3年度 災害対応訓練について



訓練責任者 救急科・循環器内科 医長 山岸 敏治

去る10月22日、令和3年度の災害対応訓練を行いました。令和2年度は、コロナ禍のため災害対応に関する院内の諸問題を討論する形式としましたが、今年度は以前と同様に多数傷病者を受け入れる実働形式としました。災害想定は例年通り大規模地震災害としましたが、コロナ禍にあつての訓練のため、訓練テーマは「地震災害による多数傷病者発生事案 ～感染症流行下での対応～」としました。



例年前橋赤十字病院や北毛病院にも参加していただいておりますが、第5波の余韻が残っている状況でしたので断念せざるを得ませんでした。群馬県庁（医務課）とは災害時に使用する衛星電話を利用した情報伝達訓練などを行い、渋川広域消防本部とは傷病者収容依頼の連絡をいただく形でご参加いただき、渋川保健福祉事務所からは訓練を見学にお越しいただきました。当日は、午前中に院内



災害対策本部の訓練を行い、午後に来客制限を行った上で病院全部署が参加して全体訓練を行いました。

訓練の経過はというと、2年ぶりの実働訓練である上に感染症対応が負担となり、多くの部署で対応に混乱が生じてしまいました。訓練設定ではコロナ感染傷病者を数名潜り込ませましたが、発熱や呼吸器症状のある傷病者はすべて感染症疑いとして扱い

ましたので、感染症対応数は多く、傷病者の動線や隔離して診察する場所・人手の確保などに問題が生じておりました。また、初めての試みとして、歩行可能な軽症患者を災害用テントやプレハブなどを用いて屋外で対応する訓練も行いましたが、患者情報の取り扱いや待合場所などに関してやはり問題が生じてしまいました。大規模災害では多数傷病者への対応が必要となりますが、感染症流行下ではその負担が著しく増大することも病院全体で経験することができました。今後も訓練を継続し、対応能力を向上させていきたいと思っております。

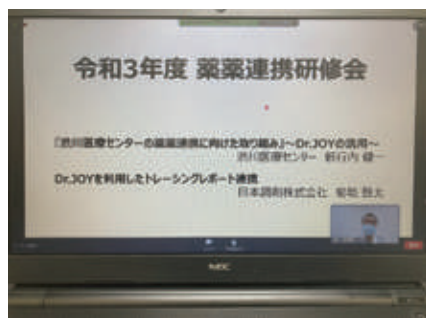


薬薬連携研修会を開催して

前 薬剤部 副薬剤部長 **海老原 卓志**

(現 下総精神医療センター 薬剤科長)

渋川医療センターでは、がん薬物療法を受けられる患者さんには、安全安心な治療を受けていただけるよう、地域の保険薬局との連携（薬薬連携）を充実していきたいと考えています。この度、薬薬連携を充実させるためのWEBによるオンライン研修を令和4年1月19日（水）に開催しましたのでその内容についてご報告します。



そもそも薬薬連携研修会は、西群馬病院の時から講演形式やグループディスカッション形式で様々な内容の勉強会を行っていましたが、最近はがん治療に関するテーマが中心です。なぜなら、以前のがん治療は入院治療が中心でしたが、近年は入院せず通院しながら外来で高度ながん治療が行われるようになってきたからです。がん治療には外科治療、放射線治療、がん薬物療法、緩和ケアなどがありますが、外科治療以外のほとんどが外来で実施されています。がん薬物療法とは、いわゆる抗がん剤治療のことですが、細かくは化学療法、分子標的療法、がん免疫療法、ホルモン療法といった治療法があります。その他にも輸血、G-CSF製剤、ビスフォスフォネートやデノスマブの投与など、がん治療に伴う副作用を軽減する目的の支持療法を実施しています。外来でがん治療を行うことで、仕事や通学、家族生活を続けることができ、生活の質を維持することができます。

それらをサポートする役割として、地域の保険薬局にも力を発揮していただく必要があります。特に内服の抗がん剤の効果を十分に発揮させるためには、正しい服用が不可欠ですし、副作用が生じた時の相談相手としても保険薬局薬剤師の力が必要です。

今回の研修会では、日本調剤株式会社渋川薬局の菊地啓太薬剤師、渋川医療センター薬剤部の新行内健一薬剤師に、それぞれの立場から薬剤師の取り組みについてご講演いただき、渋川地域の保険薬局の先生方を中心に群馬県内の薬剤師60名の方に聴講をいただきました。

今後も病院薬剤師と保険薬局薬剤師で研修会を実施し、患者さんの状態を踏まえた適切に必要な指導を行うための連携体制を構築していきたいと考えています。お薬に関する疑問がありましたら、遠慮なくかかりつけの薬剤師にご相談ください。

COVID-19感染症に対する 「2021年度人工呼吸器実地研修」に参加して

感染症病棟看護師長 金子 清美

「2021年度人工呼吸器実地研修」とは、群馬県が新型コロナウイルス感染症対策事業の一環として、重症患者の対応強化を目的とし前橋赤十字病院・群馬大学附属病院の医師らのチームが各施設へ出向き、講義や実技指導を行う研修です。当院で2021年11月6日に研修が行われ、医師・研修医・臨床工学士・看護師ら25名が参加しました。症例を用いた呼吸管理方法の紹介、新型コロナウイルス感染症患者に対する「気管内挿管の注意点」「人工呼吸器グラフィックの見方」「ネーザルハイフローを使用した非侵襲的呼吸管理」「腹臥位療法」について講義を受け、腹臥位療法の実技演習を行いました。

デルタ株が蔓延した第5波では重症化する患者が多く、気管内挿管中患者さんの腹臥位療法の実践に備えて知識と技術の確認ができ、呼吸管理の重要性を改めて実感した研修となりました。

感染状況が今後どのように変化するか予測がつかない状態が続いています。感染症病棟ではいかなる状況になっても、患者さんへの良い医療・ケアを提供できるよう、学んだ知識・技術、培った経験を活かし、万全の体制で臨めるようこれからも研鑽に努めてまいります。



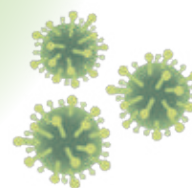
講義の様子



腹臥位療法レクチャー



腹臥位療法の実技演習





専門・認定看護師 オンラインセミナーをはじめました



がん性疼痛看護認定看護師 奥澤 直美

今年から、医療職の皆様を対象とした専門・認定看護師による【オンラインセミナー】を開始し、1月20日に第1回目を行いました。今回は「がんの痛み」をテーマに行い、22名の方に参加していただきました。

がんの痛みに関する相談の中で多い、オピオイドの内服が困難な時の貼付剤への変更についての話を中心に、看護師として「患者さんの痛みに寄り添うこと」の大切さをお伝えしました。また、緩和ケアチームのメンバーで薬剤部の濱中調剤主任より、フェンタニル貼付剤変更時のポイントやオピオイドの副作用対策等、緩和ケアに役立つ情報提供を行いました。日々、がんの痛みや不安等を抱える患者さん、ご家族に対応されている参加者の方からは、「参考になった」「わかりやすかった」「有意義な研修だった」等の感想をいただき、ほっといたしました。

今後も13名の専門・認定看護師が、定期的にオンラインセミナーの開催を予定しております。患者さん、ご家族が安心して、地域で療養できる環境を整え、看護の質向上に向け、情報共有を行ってまいりたいと思います。セミナーについては、随時、病院のホームページでお知らせいたします。事前に質問もお受けし、セミナーの中でディスカッションしてまいりたいと思っていますので、ふるってご参加ください。

また、同時に専門・認定看護師による【看護メール相談】を開設しました。医療職の皆様を対象に、在宅や地域の介護施設の患者さんのケアや指導で困っていること等、より良い看護ケアの方法を一緒に検討してまいりたいと思います。相談方法については、ホームページをご覧ください。


 渋川医療センター 専門・認定看護師
Webセミナー2021 参加
無料
 2022年1月20日（木）18:00～19:00


がん患者の痛みの緩和
～内服困難時の貼付剤の活用～
痛み止めが飲めなくなってきた場合どうしていますか？
 痛みのパターンによるアセスメントや貼付剤変更・活用時の
 ポイントを一緒に考えてみませんか？
 がん性疼痛看護認定看護師：奥澤直美

医療用麻薬の使い方
～フェンタニル貼付剤を中心に～
投与経路が変更になった際に仰っておきたいポイントや副作用
 を上手にコントロールする方法について一緒に学びましょう！
 薬剤部 調剤主任：濱中悠賀

参加方法：Zoomアプリ
https://zoom.us/join/zoom/register/WN_NrTBAgWBS7O9fWKKHPD7amA
 ウェビナーID: 938 8681 7960
 パスコード：231010

質問は事前に承りますので、質問内容を下記の連絡先まで
 メールでお送りください。お待ちしております。
 問い合わせ先：連絡先：渋川医療センター 奥澤直美
 207-kangokansyu_mbx@mail.hosp.go.jp

渋川医療センター 専門・認定看護師 Webセミナー 2022
 2022年度の開催予定です
 詳しい日程は病院ホームページでお知らせいたします
 皆様の参加をお待ちしています



月	講師	内容
6月	本多晶子 小和田美由紀 (がん看護専門看護師)	意思決定支援とACP ～エンディングノートの活用を考えて～
9月	小林美穂 (摂食・嚥下障害看護認定看護師)	食事介助のテクニック ～食事姿勢と介助方法～
12月	石田ゆかり (慢性呼吸器疾患看護認定看護師)	在宅での呼吸に対するフィジカルアセスメント ～安楽な吸引方法、酸素投与方法～
2月	山口友久 星野由佳 (がん化学療法看護認定看護師)	在宅での暴露対策 ～家族を暴露から守るために～

職場紹介：療育指導室

療育指導室

当院には約100名の重症心身障害児(者)^{*}の皆さまが入所しています。その利用者の皆さま（以下「利用者さま」）やご家族さまを福祉の立場から支援しているのが私たち療育指導室です。現在、児童指導員2名と保育士5名で活動しています。

私たちは、個別の療育活動、グループ活動、誕生会や夏まつりの行事、戸外活動を計画・立案し、利用者さまの日常生活の支援や生活の質の向上に日々取り組んでいます。現在はコロナ禍で戸外活動が実施できないため、旅行やお茶会、水族館や遊園地など、戸外活動で行く予定であった目的地を意識し、実際に体験していただきたい内容をテーマに「お楽しみ会」を行っています。また、広く大きなスペースの療育訓練室には、職員と一緒に季節の変化と日本の文化を感じられるよう、「散歩活動」と称して数か所の体験ブースを設置しています。看護師の意見も聞きながら月ごとに活動内容を立案し、実際の活動では他職種の協力も得ながら毎日たくさんの利用者さまに楽しんでいただいています。そして暖かな日にはバルコニーに出てシャボン玉をしたり、当院の後ろを走る電車を眺めたりしながら、ゆったりと外気浴を楽しんでいます。

現在当院では、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点からご家族さまの面会を禁止させていただいております。ご家族さまの不安軽減を目的に、コロナ禍における家族支援として、利用者さま毎の日々の生活風景をDVDにまとめ、ご家族さまにお配りしています。また、利用者さまとご家族さまが画面越しであっても会えるように、LINEによるビデオ通話を昨年初めより開始しました。まだまだ面会ができない日々が続いていますが、利用者さまの元気な姿をご家族さまにお見せすることができ、私たちもとても嬉しいです。

療育指導室職員は、利用者さまにとって一番身近で、ご家族さまからは一番に相談したいと思っただけのような存在になることを目指しています。そしてどんなに重い障害があっても、一人ひとりに「意思」があることを尊重し、利用者さまからの一生懸命なサインを共に喜びます。利用者さまの日々の生活に安心と明るさを届けられるよう、これからも利用者さまと一緒に「楽しい」を共有していきたいです。



スタッフ集合写真



グループ活動
(パラシュート)



お楽しみ会
(遊園地)



2021年度
年間製作

^{*}重度心身障害児(者)とは、重度の身体障害と知的障害を併せ持った方

職場紹介: 5階西病棟

5階西病棟看護師長 宮下 美紀

5階西病棟は血液内科単科の病棟です。多発性骨髄腫、悪性リンパ腫、骨髄異形成症候群、白血病などの患者さんが入院されています。主な治療として、化学療法、輸血療法、放射線療法があります。6床のバイオリジカルクリーンルームと陰圧個室3室を含めた45床で、易感染状態の患者さんが安心して入院生活を送れる環境を整備しています。近年は、自家末梢幹細胞移植による治療も積極的に行なっており、治癒又は寛解を目指し意欲的に取り組む患者さんに、薬剤師や臨床工学技士と連携しサポートしています。また、新薬導入の治験では、患者さんを積極的に受入れ治験室を中心とした多職種と協力して学習会を行い、薬剤の安全な投与と環境を整えています。

今年度より新たに骨髄腫、リンパ腫センターを開設し、安全で高度な治療と患者さん・ご家族の思いに寄り添える質の高い看護を目指し、取り組んでいます。多職種カンファレンスでは、一人一人の患者さんに合わせた医療を検討し、情報共有しながらチーム医療を推進しています。また、患者さんのニーズを尊重し、納得して治療が受けられるよう患者さんと共に治療内容や退院に向け目標を設定し、適切な医療や看護ケアによって、満足度が高められるようクリニカルパスの運用も開始しました。退院指導では、疾患や治療に合わせ副作用対策やサービス内容を提示し、安心して患者さんやご家族が生活できるよう、指導を行なっています。

化学療法を受ける患者さんは、長期に渡り入退院を繰り返しながら治療を続けています。私達看護師は、患者さんが療養生活を送るうえで、安心して信頼できる家族のような存在でありたいと考えています。共に喜びや悲しみを分かち合いながら、患者さんの気持ちに寄り添い病気に立ち向かっています。治療への不安や副作用に苦しむ患者さんの療養生活が、出来るだけ苦痛なくその人らしく送れるよう今後もお手伝いさせていただきます。



輸血投与



化学療法



カンファレンス

—患者さんにとって耳よりな情報—

「その症状、不整脈かも!？」

臨床検査科 主任臨床検査技師 白倉 聡

■最近、こんな症状ありますか？

「ドキドキする」、「脈が飛ぶ」、「脈が乱れている」などの症状は、不整脈を疑う症状のひとつです。他にも「胸痛」や「息切れ」などは、循環器疾患以外にも認めることがあるので詳しく原因を調べる必要がありますが、「失神」や「極端に脈が遅く息苦しい」などの症状には、危険な不整脈が潜んでいることもあり精密検査が必要です。



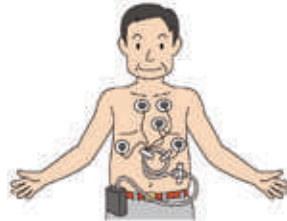
■不整脈の原因は？

主な原因は心臓自体の病気ですが、心臓以外にも甲状腺疾患、疲労、ストレス、睡眠不足、カフェイン摂取、遺伝、体質、加齢などがあります。不整脈は健康な方でも1日に何回かは出ていることがあり、全ての不整脈が危険な訳ではないため、検査で調べる必要があります。

■どんな検査をするの？

不整脈を検出する一般的な検査は、心電図検査です。健康診断などでも実施している検査ですが、検査時間が短いため不整脈を検出できない事があります。そのような場合は、ホルター心電図といった機械を24時間装着して心電図を記録する検査があります。

また、心臓超音波検査では、不整脈の原因となる心臓の異常を調べることができます。



(左から心電図検査、ホルター心電図、心臓超音波検査)

■脈拍の自己チェック

不整脈を疑う症状がある場合には、自己検脈をしてみましょう。

検脈の方法

- 手のひら側を上にして手首のシワを見つめます。
 - 手首のシワの位置に反対の手の薬指がくるように人差し指、中指、薬指の3本を当てます。親指の付け根の骨の内側で、脈がよく触れるところを見つめます。
 - 脈拍を触知できたら、脈拍が規則的か、ぬげがないかをチェックします。
- また、脈拍数も数えてみましょう。安静時の脈拍数は、1分間に約50～100回程度です。15秒間の脈拍数を数えて4倍すると1分間の脈拍数になります。



最近では、携帯型の簡易心電計やアップルウォッチでも手軽に不整脈を検出することが可能になりました。アップルウォッチで不整脈が検出されて、早期治療ができたという報告も増えています。

特に、心房細動は脳梗塞の原因になる不整脈でもあるため、このような日常的に身に着けることができるデジタルヘルスクアを活用するのも有用だと言えます。

散歩の勧め・継続の秘訣

理学療法士 吉田 裕之

桜花爛漫の候、皆様はいかがお過ごしでしょうか。寒い冬が終わり、麗らかな春の日差しを感じる季節になってきました。本日の「耳よりな情報」は、「散歩の勧め・継続の秘訣」をお送りしたいと思います。散歩するだけでも、筋力の低下を予防し、免疫力を上げることができます。

■実は難しい「ながら運動」

よくテレビの通販番組で「テレビのCMの間にできる!」といった謳い文句で健康器具を販売しているのを目にしませんか?ご購入された方もいるのではないのでしょうか。多くの方が「手軽にできるなら」といった理由で購入されていると思いますが、継続できましたか?実は、お手軽な運動ほど継続するのは難しいのです。

■お気に入りの服を着て外に出よう

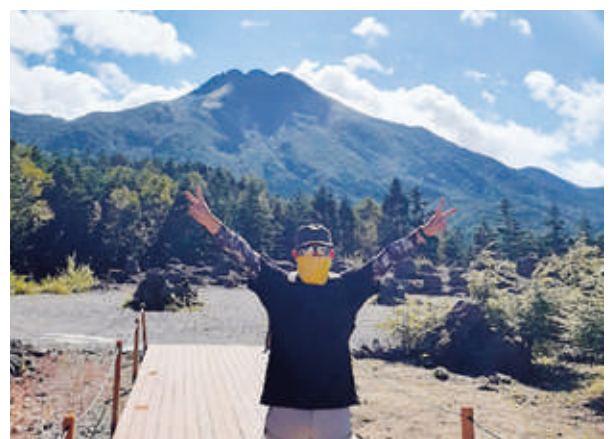
運動は簡単に取り組めてしまうと継続できないので、運動のきっかけを作るためにまず服を着替えるのはどうでしょう。お気に入りの服を着て、恰好をつけてください。マスクも忘れずをお願いします。服がなければ運動用に買うのもOKです。「運動しよう」と思わず、「服を着替えよう」と思えば気楽に運動を始められますよ。厚労省の通達では屋外での散歩等は自粛せず継続し、機能維持に努めるよう言われていますので、緊急事態宣言がなければ積極的に活動して頂いて大丈夫です。

■散歩の時間と距離

一般の生活をする筋力は4000歩で維持できるので、まずは1日に4000歩を目標にしてはどうでしょうか。そこから7000歩、10000歩、3km、5kmと増やしていきましょう。

■どこを散歩する?

まずはお気に入りのコースを見つけてください。広い道路で見通しがよく、ちゃんと歩道がある場所がお勧めです。自信がついてきたら、いつもの道ではなく、車で目的地に向かって範囲を広げましょう。山間の遊歩道や登山道に挑戦してはどうでしょうか?陸上競技場を歩けば、歩きやすさにびっくりすると思います。新しい事に挑戦することが、運動を続ける一番のコツですよ!



サングラスと帽子とマスクを着けて、日光白根に挑戦しました。



渋川医療センター外来診療担当医表

(2022年4月1日現在)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
一般内科	午前				モリ カズヨ 森 一世	
	午前				カワシマ チエコ 川島 知恵子	
循環器内科	午前		マツオ ヤエ 松尾 弥枝(北関) (第1.3.5週) イワサキ トシヤ 岩崎 俊弥(北関) (第2.4週)	ミキ コウコ 三樹 祐子(心血セ) (第1.3.5週) クリハラ ジュン 栗原 淳(心血セ) (第2.4週)		ヤマギシ トシハル 山岸 敏治 (第1.3.5週) 北関東 (第2.4週)
脳神経内科	午後			ヤナギサワ タカユキ 柳澤 孝之 (第1.3.5週13:30~)		
呼吸器内科	午前	オオサキ タカシ 大崎 隆	ヨコタ イタル 横田 暢(群大)	クワコ トモヒト 桑子 智人	オオヌキ コウジ 大貫 祐史	クワコ トモヒト 桑子 智人
	午前	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	ムラタ ケイスケ 村田 圭祐	ツチャ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ サトル 渡邊 寛
	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	スナガ ノリアキ 砂長 則明(群大)	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	オオサキ タカシ 大崎 隆	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘
	午前から 14時迄	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣		オチアイ マイ 落合 麻衣
	午前		ハラ ケンタロウ 原 健太郎(群大)		ワカマツ イクオ 若松 郁生(群大)	
内分泌・代謝内科	午前			オオサキ アヤ 大崎 綾(群大)	ショウダ ヨシヒト 正田 純史	ヨシノ サトシ 吉野 聡(群大)
	午後	ショウダ ヨシヒト 正田 純史	ショウダ ヨシヒト 正田 純史			
内科Walk in外来 (研修医外来)	午前	ワタナベ サトル/オオヌキ コウジ 渡邊 寛/大貫 祐史 ミハラ マサヒロ/マツモト アキラ 三原 正大/松本 彬	マツモト モリオ/サイトウ アキオ 松本 守生/斎藤 明生 テラサキ ユキエ/イノウチマ ヒロノ 寺崎 幸恵/入内島 裕乃	シバサキ エリナ 柴崎 絵里奈		オオサキ タカシ/オチアイ マイ 大崎 隆/落合 麻衣 ムラタ ケイスケ/シバサキ エリナ 村田 圭祐/柴崎 絵里奈
小児科	重 心 予約制				イノウエフミカ 井上 文孝(重心)	
	小児神経 (てんかん) 予約制		イダ クニコ 井田 久仁子(小児神経)			
血液内科	午前			マツモト アキラ 松本 彬		
	午前	テラサキ ユキエ 寺崎 幸恵	イノウチマ ヒロノ 入内島 裕乃	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	ミハラ マサヒロ 三原 正大
	午後 (予約)		オガワ ヨシユキ 小川 孔幸(第2週)			
	午前	サイトウ アキオ 斎藤 明生	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イノウチマ ヒロノ 入内島 裕乃	イソダ アツシ 磯田 淳	サイトウ アキオ 斎藤 明生
	午前	イノウチマ ヒロノ 入内島 裕乃	サウラ モリオ 澤村 守夫	テラサキ ユキエ 寺崎 幸恵	イノウチマ ヒロノ 入内島 裕乃	オオサキ ヨウヘイ 大崎 洋平(群大)
消化器内科	午前	ナカジマ ヨシミ 中島 良実	サウ ヒロコ 佐藤 洋子	ヤマザキ コウイチ 山崎 勇一(群大)	スガ タカヨシ 須賀 孝慶	フルヤ ケンスケ 古谷 健介
	午前	キムラ コウコウ 木村 有宏	カナヤマ ユウキ 金山 雄樹(群大)	ヒロカワ トモユキ 廣川 朋之	ナガシマ タモン 長島 多聞	アダチ タクヤ 安達 拓也(群大)
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ ゴウ 小林 剛		イトウ ヨシヒコ 伊藤 義彦	イトウ ヨシヒコ 伊藤 義彦	コバヤシ ゴウ 小林 剛
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マジマ タケヒコ 間島 竹彦	マジマ タケヒコ 間島 竹彦		マジマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 (予約制)	午前	マツウラ マサナ/カミヌマ タクヤ 松浦正名/神沼 拓也	ナカムラ ユウジ/マツウラ マサナ 中村勇司/松浦正名 カミヌマ タクヤ/クワコケイコ 神沼拓也/桑子 慧子	カミヌマ タクヤ/クワコケイコ/ナカムラ ユウジ 神沼拓也/桑子 慧子/中村勇司	カミヌマ タクヤ/ナカムラ ユウジ/マツウラ マサ 神沼拓也/中村勇司/松浦正名	クワコケイコ/カミヌマ タクヤ/マツウラ マサ 桑子 慧子/神沼拓也/松浦正名
	午後	ナカムラ ユウジ 中村 勇司				ナカムラ ユウジ 中村 勇司
麻酔科	午前		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆	セキモト ケンイチ 関本 研一 (ペインクリニック外来)		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆

外来受付時間 8時30分～11時00分 注)担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※眼科の月曜日診察は紹介状をお持ちの方とご予約されている方のみ受診できます。

※整形外科は初再診にかかわらず、原則完全予約制です。

※原則、午後は予約診察のみとなりますが、★印の診察については受付時間は15:00までとなります。

※(予約)と記載がある場合は、予約患者さんのみの診察となります。

※再診予約の方については16:00まで再来受付機での受付が可能です。

※やむを得ない事情により突然の休診や診療医師変更もございます。ご了承ください。

◎予約変更について 受付時間：平日13～17時 TEL.0279-26-3010 (予約専用)
TEL.0279-23-1010 (代表)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
消化器外科	午前	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	ヨシナリ タイスケ 吉成 大介	ヌマガ ユキ 沼賀 有紀	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後		マキ シゲオ 真木 茂雄	スケガワ シンサク ★助川 晋作 (肛門科・消化器外科) (第1.3.5週 13:30~)		
	午前		タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文		タカハシ ケンゴ 高橋 研吾	
呼吸器外科	午前	ヤマキ エイ 八巻 英		カワシマ オサム 川島 修		カワシマ オサム 川島 修
	午前			オノサト リョウイチ 小野里 良一		ヤマキ エイ/オノサト リョウイチ 八巻 英/小野里 良一
脳神経外科	午後					イタバシ ユウタロウ 板橋 悠太郎
	午後14時~					アイシマ カオル 相島 薫 (群大)
	午前	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 【予約制】高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司
	午後			ミヤキシマ タカアキ 宮城島 孝昭 (群大)		イベ ヨウゴ 伊部 洋子 (群大)
	午後(予約)			ヒラト マサブミ 平戸 政史		
	午前		ヒラト マサブミ 平戸 政史		ヒラト マサブミ 平戸 政史	
	午後(予約)				ヒラト マサブミ 平戸 政史	
ニューロ モデュレーション外来	午後			★ニューロモデュレーション外来 14:00~		
整形外科 (予約制)	午前	キタガワ タカノリ 喜多川 孝欽	イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一 (群大)		カナザワ サエコ 金澤 紗恵子	
	午後		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一 (群大)	オカムラ コウイチ 岡部 興一 (群大) (第1.3.5週) アリザワ シンスケ 有澤 信亮 (群大) (第2.4週)		ヨネモト ユキオ 米本 由木夫 (第2.4.5週) 【リウマチ専門外来】
	午前		カヤカベ マサトモ 加家壁 正知			
	午前	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	カナザワ サエコ 金澤 紗恵子		カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	キタガワ タカノリ 喜多川 孝欽
	午後	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知			カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	
泌尿器科	午前	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ササキ タカフミ 佐々木 隆文	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ササキ タカフミ 佐々木 隆文
	午後(予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ササキ タカフミ 佐々木 隆文		タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美
	午前 10:00まで	スギノ アキヒコ 杉野 陽彦	ササキ タカフミ 佐々木 隆文	タムラ ヨシミ 田村 芳美	スギノ アキヒコ 杉野 陽彦	タムラ ヨシミ/辻 ユウスケ 田村 芳美/辻 裕亮 (群大)
	午前 10:00まで				ササキ タカフミ 佐々木 隆文	
	午前 10:00まで					ツジ ユウスケ 辻 裕亮 (群大)
耳鼻咽喉科	午前			オカモト アヤコ 岡本 彩子		オカモト アヤコ 岡本 彩子
皮膚科	午前	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	アラキ タケシ 荒木 健
	午後(予約)	アラキ タケシ 荒木 健	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	アラキ タケシ 荒木 健
	午前	アラキ タケシ 荒木 健	ナカノ シュン (第2.4週) 中野 瞬 (群大)	アラキ タケシ 荒木 健	アラキ タケシ 荒木 健	
甲状腺科	午前	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹		ヨコエ タカオ 横江 隆夫
	午後(予約)			ヨコタ トオル 横田 徹		
乳腺科	午前	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコタ トオル 横田 徹	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子		ヨコタ トオル 横田 徹
	午後(予約)		ヨコタ トオル 横田 徹			ヨコタ トオル 横田 徹
乳腺・甲状腺科	午前	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ タカオ 横江 隆夫		
眼科	午前	アサトリ ヨウスケ 朝鳥 洋介 (群大)				
	午後(予約)		グンダイシ 群大医師	タカヤマ マユコ 高山 真祐子 (群大)		
	午前	ムカイ リョウ 向井 亮 (群大)				

セカンドオピニオン担当医表 (令和4年4月1日現在)

科 別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午後3時30分～	吉井 明弘	—	吉井 明弘	—	—
呼吸器外科	午前中	川島 修	—	—	—	—
血液内科	午後2時～	松本 守生	—	—	—	—
乳腺・甲状腺外科	午後2時30分～	横江 隆夫 (午後～)	—	横田 徹	—	—
消化器外科	午後	蒔田 富士雄	—	—	—	—
放射線科	午後3時～	—	—	松浦 正名	中村 勇司	—
緩和ケア科	午後	小林 剛	—	—	—	小林 剛
皮膚科	午後3時～	高橋 亜由美	—	—	—	—
泌尿器科	午後3時30分～	—	—	—	—	田村 芳美
脳神経外科	午後	—	—	宮城島 孝昭	—	—

※対象者:原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用:30分毎に5,500円

※お問い合わせ先:TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

患者さんの権利

1. 最善の医療サービスを受ける権利
2. 人格・人権を尊重される権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーを保護される権利

がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。
担当:ソーシャルワーカー
電話:0279-23-1010(代表)
(受付時間は平日8:30~17:15です)
- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail:207-ShibuKawaMC_mbx@mail.hosp.go.jp

看護の理念 患者さんの立場に立ち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します。

看護の基本方針

1. 患者さんの気持ちを大切に、思いやりとまごころ込めた看護を提供します。
2. 患者さんと共に考える看護の実践により患者さんが自ら意思決定が行えるよう支援します。
3. 地域の人々と連携を図ることで患者さんの生活の質の維持向上に努めます。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重した質の高い看護を提供します。
5. 看護の専門性を追求し、根拠に基づいた安全で安心な看護を提供します。

編 集 後 記

4月に入り新しい年度がスタートしました。新入学や新入社の月であり、当院も5名の医師が増員され外来診療が昨年より充実しております。外来診療担当表を確認していただければ幸いです。コロナ禍も3年目に突入し生活環境が一変した方も多くいらっしゃると思います。生活環境が変わるとさまざまな苦勞を伴うと思いますが、春の芽吹きとともに一日も早く穏やかな日が訪れる事を祈りたいと思います。

(K.T)



独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

〒377-0280 群馬県渋川市白井383番地 TEL 0279-23-1010 (代) FAX 0279-23-1011
<https://shibukawa.hosp.go.jp>